

山梨県がワインやフルーツの魅力を発信

シンガポール事務所

山梨県は8月5日に「山梨県魅力発信イベント・YamanaSHIOK!」、翌6日からは「富士の国やまなしフルーツフェア」を開催し、ワインやフルーツに代表される山梨県産品の質の高さを味覚に訴える手法でアピールしました。

1 山梨県魅力発信イベント「YamanaSHIOK!」

「SHIOK」とはシンガポールで「いいね」という意味で使われます。本イベントはジャパン・クリエイティブ・センターで県産品の販路拡大や外国人観光客誘致を目的に開催されました。地元ワイン輸入業者や飲食店関係者ら約70名を集め、甲州ワインや県産果物を使用した洋菓子を試飲や試食を通じて効果的に披露しました。ターゲットであるシンガポールの現地女性への訴求力や共感を重視し、魅力PRはすべて女性がプレゼンターを務めたことも特徴的です。



女性パティシエがスイーツをPR

山梨県はぶどう・もも・すももの収穫量が日本一で、豊かな水資源や長い日照時間、内陸に起因する温度差が要因とされています。これらのフルーツを活用した甲州ワインはシンガポールの料理に良く合い、また、スイーツは見た目も可愛らしく女性の興味を惹いていました。後藤知事は、「山梨の食をじっくり堪能していただくためにも、滞在型の観光を提案していきたい。」と意気込みを語りました。

2 富士の国やまなしフルーツフェア

魅力発信イベントに続き、地元のショッピングセンターである明治屋において5日間にわたるフルーツフェアが開催されました。オープニングイベントでは知事がトップセールスを行い、来店者に対して山梨県産のももやぶどうを紹介しました。知事が「デリシャス」と率先してももの試食を勧め、試食された方は「とても甘くてジューシー」と感嘆の声を上げていました。



山梨県産のももは子どもにも大人気

近年のシンガポール人訪日旅行者はリピーターが主流となっています。シンガポールで山梨県産の食が浸透することで、次の観光目的地としても山梨県を注目して欲しいという熱意が伝わって来ました。

(佐々木所長補佐 札幌市派遣)